

十河広工大教授が講演

ビジネスセミナーに約40人

—— 社建フォーラム ——

社会基盤と建設産業フ
ォーラム(略称・社建フ
ォーラム、土屋聡会長)は2
2日、広島市南区金屋町のワ
ークピア広島で「第52回
施策&ビジネスセミナー」
を開いた。一般参加を含め
て約40人が集まり、インフ
ラの老朽化対策として今
後何が必要かを学んだ。

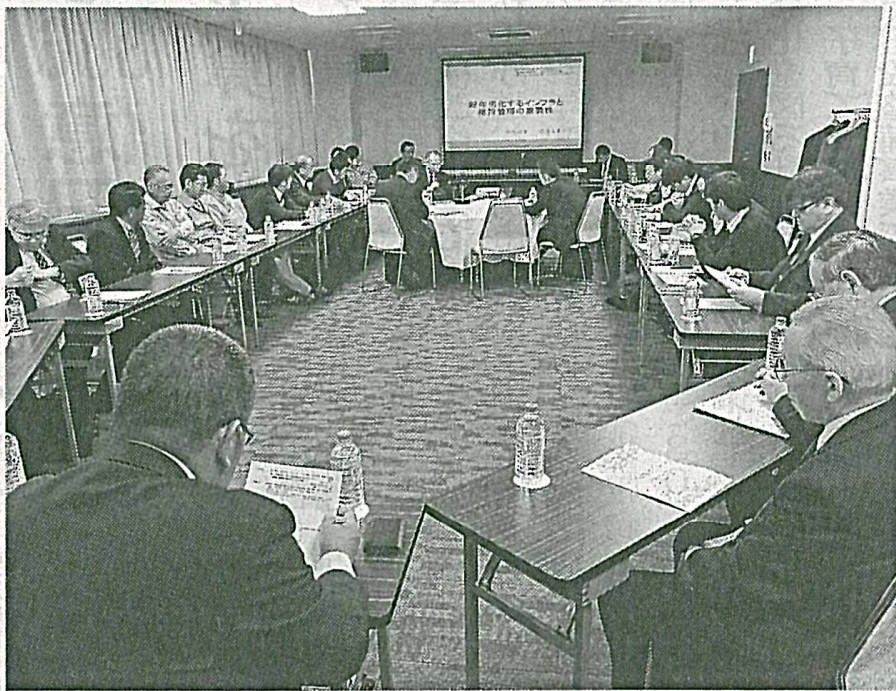
今回のセミナーでは、
広島工業大学工学部環境
土木工学科の十河茂幸教
授が講師を務め、「経年劣
化するインフラと維持管
理の重要性」を演題に講
演した。十河教授は、イン
フラ老朽化の実態やイン
フラ構造物の課題、コン
クリートの延命化策を軸
に解説。この中で「予算不
足と技術者不足」を課題
にあげたほか、効率的な
延命化に向けては「早期
の対応が功を奏す」と指
摘した。また、「小規模橋
梁点検マニュアルを作成
していきたい」と述べた
ほか、「点検・診断にお金
をかけるのではなく、補
修にお金をかけるべきと
いう意見もある」と語っ
た。

熱心に聴講した参加者
らは「コンクリート診断
で困っている点」や「有効

な点検ツール」について
質問。「コンクリート診断
士が増えない理由」や「コ
ンクリートのひび割れと
劣化の関係性」などに関
してもディスカッション
した。

閉会挨拶で、土屋会長
は「今回より継続学習制

度(CPDS)のユニット
を獲得できるように、講
習会実施機関の登録を行
った。これからも時代に
即したセミナーを開催し
ていきたいと考えてい
る。内容の提案や要望が
あれば、遠慮なく言って
もらいたい」と述べた。



セミナーのもよう